

新型コロナウイルス感染症によるがん診療及びがん検診への影響

調査方法

調査対象へ昨年度比較のアンケートを実施

調査対象

がん診療への影響:がん診療連携拠点病院（県内5箇所）
回答数 5(回収率100%)

がん検診への影響:市町村（県内27市町村）
回答数27(回収率100%)

調査時期

令和3年2月

注)年度途中での状況把握として、概況をとりまとめたものです。
正確な実績値に基づく集計結果ではないことにご留意ください。

新型コロナウイルス感染症によるがん診療等への影響 (がん診療連携拠点病院関係)

○がん患者の外来受診者数について(昨年度比)

- ・月平均で減少あり
山梨厚生病院
(約1割程度の減少)
- ・月平均で減少なし
県立中央病院、山梨大学医学附属病院、市立甲府病院、富士吉田市立病院
(年間通じた平均に減少はないが、短期的には昨年比較で減少した月あり)

○がん患者からの相談件数について(昨年度比)

- ・月平均で減少あり
県立中央病院、市立甲府病院
(約4割程度の減少)
- ・月平均で減少なし
山梨大学医学附属病院、富士吉田市立病院、山梨厚生病院
(年間通じた平均に減少はないが、短期的には昨年比較で減少した月あり)

※新型コロナに関連したがん相談の例

面会制限のため、入院中の様子を家族等が把握しづらく、退院後の生活に不安
→丁寧な状態説明や、利用できるサービスの案内により対応

○新型コロナウイルス感染症によるその他の影響

- ・一次的な手術の延期
- ・面会の制限
- ・医療従事者向け緩和ケア研修の中止
- ・患者・家族向け院内教室・講習会の中止
- ・資料閲覧コーナーの封鎖
- ・病院全体の外来数、入院数、手術数の減少

新型コロナウイルス感染症によるがん検診への影響
(市町村がん検診関係)

	がん検診受診者数について(昨年度比)		
	減少なし	減少率約3割未満	減少率約3割以上
胃がん検診	3 (1市、1町、1村)	19 (8市、7町、4村)	5 (4市、1村)
大腸がん検診	4 (1市、2町、1村)	18 (7市、6町、5村)	5 (5市)
肺がん検診	4 (1市、2町、1村)	17 (7市、6町、4村)	6 (5市、1村)
乳がん検診	10 (4市、4町、2村)	12 (4市、4町、4村)	5 (5市)
子宮頸がん検診	13 (5市、5町、3村)	11 (7市、1町、3村)	3 (1市、2村)

	集団検診の実施回数について(昨年度比)		
	減少なし	数回の減少	10回以上の減少
胃がん検診	15 (5市、6町、4村)	8 (4市、2町、2村)	4 (4市)
大腸がん検診	16 (5市、6町、5村)	7 (4市、2町、1村)	4 (4市)
肺がん検診	15 (5市、5町、5村)	8 (4市、3町、1村)	4 (4市)
乳がん検診	18 (7市、6町、5村)	6 (3市、2町、1村)	3 (3市)
子宮頸がん検診	23 (11市、7町、5村)	3 (1市、1町、1村)	1 (1市)

○県内市町村の概況

全体的に受診者数が減少した。

集団検診の実施が例年どおりでなかったことが要因として考えられた。

- ・3密を避けるための中止、流行期を避けるための延期

(市部で中止回数が多く、延期の調整が町村部よりも難しい状況)

受診者数の回復に向け、各市町村では安心して受診できるよう取り組みを進めた。

- ・集団検診における定員の縮小・完全予約制化、年度後半の集団検診の追加実施
- ・個別検診への切り替え